

令和2年4月17日

全学生・保護者ならびに本校全教職員のみなさまへ

校長 植松 康
副校長（総務担当）安東 至
校長補佐・学生主事 金田 保則

【注意喚起】休校中における感染および感染拡大を防ぐ行動のお願い

新型コロナウイルス感染は現在でも拡大を続けております。4月16日現在、7都府県に対して出されていた緊急事態宣言は、その範囲が全国にまで拡大しました。自身の生命、身近な家族・親友・同僚の生命を守るためにも、感染および感染拡大を防ぐ行動をお願いいたします。

既に各種報道やインターネット上に、注意すべき事項の情報が多々ありますが、今一度ここでも抜粋して注意喚起させていただきます。なお、このウイルスは感染力が非常に高いウイルスであると言われております。長い休み中に油断し、例えば県外への旅行などで自らを感染リスクの高い状況においたり、感染を拡大させたりする行動を起こすことがないようにご注意ください。

特に、現在感染者が多数発生している首都圏、東海、関西地域への旅行は厳に控えて頂くようお願いいたします。なお、秋田県では、他県から来られた方には2週間自宅等での待機と健康観察を要請しています。

【飛沫感染・接触感染を防ぐ】

- エアロゾルとなり空気中を漂うウイルスは3時間程度感染力を保つと言われております。
 - ・部屋の換気はこまめに行う。
 - ・換気の悪い密閉空間にはできるだけ入らない。
 - ・咳・くしゃみをする際には飛沫を飛ばさないようにする。（咳エチケット）
 - ・面と向かったの（大声での）会話、対面での食事は避ける。

- プラスチックの表面などでは、2～3日感染力を持つと言われております。
 - ・他人が触れてウイルスがいるかもしれない場所にできるだけ触らない。
 - ・触ってしまったら、その手で顔を触らない。
 - ・手は石鹸でこまめに洗う。

【他者への／他者からの感染を防ぐ】

- 十分な換気がされた環境で他に誰も近くにいないければ、感染したり感染させたりすることはありません。
 - ・人が密集する場所に行かない。
 - ・人と密接する状況に自分をおかない。

友人と遊びに出かけたくなるような楽しい場所は、おおよそ人が密集し密接しやすい場所です。今は、我慢しましょう。

人が旅行をすると、多かれ少なかれ他の人と接近（密集・密接）する場面が増え、感染・感染拡大リスクが増大します。県内外を問わず、感染・感染拡大リスクの増大をまねくような旅行・移動はできるだけひかえましょう。

【社会を支えてくれている人への感謝】

- 病院・医療従事者、公共交通機関で働いている人たち、生活に必要な食糧や物品を輸送・運搬している人たち、それを販売するために働いている人たち、感染拡大を防止するために我慢して耐えているさまざまな人たちに心から感謝しましょう。その人たちが直面している困難な状況を想像できる人間になればよいと思います。